

1 単元（題材）名 課題研究・作品制作

2 本単元（題材）の目標

ビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力、課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、主体的・協働的に取り組む姿勢を育てる。

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①商業に関する基礎的・基本的な学習を活用することができる 技①開発商品に関するデータを科学的に分析し活かすことができる	思①開発した商品についてレポートやポスターにまとめる 表①意見を主張しながらグループ内の意見をまとめることができる	態①開発商品に関する周辺情報を自ら進んで常に得ようとする

4 単元（題材）の指導計画（5時間扱い）

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等				
1	1	1 酒粕や商品開発の依頼があった酒造会社について、情報を収集する				○	◎参考文献やICTを活用し的確な情報収集ができる【ワークシート】 ・さまざまな角度から情報を収集させる ・間違った情報に惑わされないよう基礎情報を事前に収集しておく				
	2							2 収集した情報をまとめる ・収集した情報をまとめ、チームに共有できるようにする 3 まとめた情報を共有する ・まとめた情報をチームで共有し、情報のアップデートを図る			○
2	3	1 商品開発の原案をまとめる ・収集した情報から思い浮かんだ原案をチームに共有する		○			・相手がイメージしやすくするために、絵や図で具体的に示させる ・開発したい商品のイメージが具現化するよう架空の人物を設定し、家族構成や商品を手にする際の心情などを言葉で表させる				
		問題（課題） アイディアを具現化し、正確にチームに伝えられるか ターゲットを明確にし、そこからぶれない案を出す								○	◎否定せず相手の考えを受け入れることができる【言語活動】 ・自分と意見が違うことがあっても否定しない
		2 チームメンバーから挙がってきた案をまとめる ・チームメンバーが考えた案を磨き上げ、一つの案にまとめる								○	
3 開発協力者に提案する準備をする			○								

		<ul style="list-style-type: none"> 原案がまとまったら、開発協力者に原案を提示するための準備を始める 				
4 本 時	1	<p>「なぜ酒粕なのか」考えを深化する</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒粕を使った商品を「あげたい・買いたい・作りたい」理由を深く考える <ul style="list-style-type: none"> →商品の特徴？ ストーリー？ 使用している原料？ <p>2 掛け合わせるものの選定</p> <ul style="list-style-type: none"> →食品？物品？ →具体的には？ex:どこ産の何 <p>3 コンセプトを明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒粕にこだわった理由から、コンセプトを明確にする <ul style="list-style-type: none"> →コンセプトがずれると全部がずれる →ストーリーの作成 <ul style="list-style-type: none"> ex:誰がどこでどのような場面でするのか 			○	<ul style="list-style-type: none"> 核心からずれないように意識しながら自分の考えを深化したり、話し合いをする 商品開発の核心となる部分であることを意識させる <ul style="list-style-type: none"> …地元・石岡産 …その商品のバックグラウンド ヴィーガン対応、オーガニック 話し合いが逸れ始めたときに軸を思い出させ軌道修正する
3	5	<p>1 ネーミングを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> コンセプトやターゲットを念頭に商品のネーミングを考える 	○	○	○	<p>◎消費者の立場に立ち、わかりやすく斬新なアイデアを提供することができる【言語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の特徴がわかり、手に取ってもらいやすい名前を付ける